

## 安全データシート

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：スーパーペンキミストクリーナー

製品番号 (SDS NO): 3030079-5

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：ダンケミカル株式会社

住所：茨城県常総市大生郷町6138-7

担当部署：茨城工場 品質保証課

電話番号：0297-24-1051

FAX：0297-24-1055

緊急連絡先電話：0297-24-1051

### 2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 2

健康に対する有害性

急性毒性(吸入)：区分 4

皮膚腐食性/刺激性：区分 2

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2

発がん性：区分 2

生殖毒性：区分 1A

生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響：追加区分

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 2

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 2

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)：区分 2

水生環境有害性 長期(慢性)：区分 3

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

吸入すると有害

皮膚刺激

強い眼刺激

発がんのおそれの疑い

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

授乳中の子に害を及ぼすおそれ

臓器の障害

臓器の障害のおそれ

呼吸器への刺激のおそれ

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ  
水生生物に毒性  
長期継続的影響によって水生生物に有害

#### 注意書き

##### 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。  
環境への放出を避けること。  
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
容器を密閉しておくこと。  
容器を接地しアースをとること。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する措置を講ずること。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。  
取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
指定された個人用保護具を使用すること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

##### 応急措置

火災の場合: 指定された消火剤を使用すること。  
特別な処置が必要である。  
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
気分が悪いときは医師に連絡すること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。  
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。  
皮膚(又は髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。  
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。

##### 貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。  
施錠して保管すること。

##### 廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

#### 特定の物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

成分名	CAS No.	含有量 (%)	化審法番号
トルエン	108-88-3	40 - 50	3-2
メタノール	67-56-1	10 - 20	2-201
メチルエチルケトン	78-93-3	10 - 20	2-542
酢酸エチル	141-78-6	10 - 20	2-726
酢酸n-ブチル	123-86-4	1 - 10	2-731

キシレン(異性体混合物)	1330-20-7	1 - 10	3-3; 3-60
エチルベンゼン	100-41-4	1 - 10	3-28; 3-60

危険有害成分

安衛法「表示すべき有害物」該当成分

トルエン，メタノール，メチルエチルケトン，酢酸エチル，酢酸n-ブチル，キシレン(異性体混合物)，エチルベンゼン

安衛法「通知すべき有害物」該当成分

トルエン，メタノール，メチルエチルケトン，酢酸エチル，酢酸n-ブチル，キシレン(異性体混合物)，エチルベンゼン

化管法(令和5年3月31日まで有効)「第1種指定化学物質」該当成分

トルエン，キシレン(異性体混合物)，エチルベンゼン

化管法(令和5年4月1日施行)「第1種指定化学物質」該当成分

トルエン，キシレン(異性体混合物)，エチルベンゼン

4. 応急措置

応急措置の記述

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
蒸気、ガスを大量に吸込んだ場合には、直ちに空気の新鮮な場所へ移動し、温かく安静にする。  
呼吸が止まっている場合には人工呼吸を行う。嘔吐物は飲み込まないようにする。  
直ちに医師の診断を受けること。  
該当SDSや容器ラベルを医師に示して診察を受ける。

皮膚(又は髪)に付着した場合

直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。  
皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
付着物を布にて素早く拭取る。  
大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。  
外観に変化が見られたり、痛みがある場合には医師の診断を受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合: 医師の診察/手当てを受けること。  
直ちに大量の清潔な流水で15分間以上洗う。まぶたの裏まで完全に洗うこと。  
出来るだけ早く医師の診察を受けること。

飲み込んだ場合

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。  
嘔吐物は飲まさないようにする。

医師に対する特別な注意事項

特別な処置が必要である。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

使ってはならない消火剤

使ってはならない消火剤データなし

特有の危険有害性

有害燃焼生成物

消火を行う者への勧告

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

適切な保護具(耐熱性着衣など)を着用する。  
可燃性の物を周囲から、素早く取り除くこと。  
指定の消火器を使用すること。  
水を消火に用いてはならない。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を使用する。

### 環境に対する注意事項

乾燥砂、土、その他の不燃性のものに吸収させ回収する。

大量に流出には盛土で囲って流出を防止する。

河川等へ排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏出物は、密閉出来る容器に回収し、安全な場合に移す。

付着物、廃棄物等は、関係法規に基づいて処置をすること。

付近の着火源・高温体及び可燃物を素早く取り除く。

着火した場合に備えて、適切な消火器を準備する。

衝撃、静電気で火花が発生しないような材質の用具を用いて回収する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

(火災・爆発の防止)

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

#### 安全取扱注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

指定された個人用保護具を使用すること。

#### 接触回避データなし

#### 衛生対策

妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

### 保管

#### 安全な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

#### 安全な容器包装材料データなし

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理指標

#### 管理濃度

(トルエン)

作業環境評価基準(2009) <= 20ppm

(メタノール)

作業環境評価基準(1995) <= 200ppm

(メチルエチルケトン)

作業環境評価基準(1995) <= 200ppm

(酢酸エチル)

作業環境評価基準(2004) <= 200ppm

(酢酸n-ブチル)

作業環境評価基準(2012) <= 150ppm

(キシレン(異性体混合物))  
作業環境評価基準(2004) <= 50ppm  
(エチルベンゼン)  
作業環境評価基準(2012) <= 20ppm

許容濃度

(トルエン)  
日本産衛学会(2013) 50ppm; 188mg/m<sup>3</sup> (皮)  
(メタノール)  
日本産衛学会(1963) 200ppm; 260mg/m<sup>3</sup>  
(メチルエチルケトン)  
日本産衛学会(1964) 200ppm; 590mg/m<sup>3</sup>  
(酢酸エチル)  
日本産衛学会(1995) 200ppm; 720mg/m<sup>3</sup>  
(酢酸n-ブチル)  
日本産衛学会(1994) 100ppm; 475mg/m<sup>3</sup>  
(キシレン(異性体混合物))  
日本産衛学会(2001) 50ppm; 217mg/m<sup>3</sup>  
(エチルベンゼン)  
日本産衛学会(2020) 20ppm; 87mg/m<sup>3</sup> (皮)  
(トルエン)  
ACGIH(2020) TWA: 20ppm (中枢神経系, 視覚, & 聴覚障害; 女性生殖器系影響; 流産)  
(メタノール)  
ACGIH(2009) TWA: 200ppm;  
STEL: 250ppm (頭痛; 眼損傷; めまい; 吐き気)  
(メチルエチルケトン)  
ACGIH(1992) TWA: 200ppm;  
STEL: 300ppm (上気道刺激; 中枢及び末梢神経系障害)  
(酢酸エチル)  
ACGIH(1979) TWA: 400ppm (上気道及び眼刺激)  
(酢酸n-ブチル)  
ACGIH(2016) TWA: 50ppm;  
STEL: 150ppm (眼及び上気道刺激)  
(キシレン(異性体混合物))  
ACGIH(2021) TWA: 20ppm (眼及び上気道刺激; 血液学的影響; 聴覚毒性; 中枢神経系障害)  
(エチルベンゼン)  
ACGIH(2021) TWA: 20ppm (上気道及び眼刺激; 聴覚毒性; 腎臓影響; 中枢神経系障害)

特記事項

(トルエン)  
聴力障害  
(メタノール)  
皮膚吸収  
(キシレン(異性体混合物))  
聴力障害  
(エチルベンゼン)  
聴力障害

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態 : 液体

色 : 無色透明

臭い : 溶剤臭

融点/凝固点 : -30°C

沸点又は初留点 : 64°C

沸点範囲 : 64 から140°C

可燃性(ガス、液体及び固体): 点火性あり

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：

爆発下限：1.0vol %

爆発上限：36.5vol %

引火点：(タグ密閉法)2°C

自然発火点：425°C

分解温度データなし

pHデータなし

動粘性率データなし

溶解度：

水に対する溶解度：不溶

溶媒に対する溶解度データなし

n-オクタノール/水分配係数データなし

蒸気圧：12700Pa

蒸気密度：4.0

密度及び/又は相対密度：0.859

相対ガス密度(空気=1)データなし

粒子特性データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性

反応性データなし

化学的安定性

保管条件(温度・光)

常温では反応性はない

危険有害反応可能性

その他危険性情報

特に情報は有していない。

避けるべき条件

直射日光を避ける。

周囲で火気、スパーク、高温物の使用を禁止する。

衝突を避ける。

(静電放電、衝撃、振動等)

混触危険物質

第1類 酸化性固体(塩素塩酸類等)及び第6類 酸化性液体(過酸化水素類等)

混触後一定時間を経過してから急激に反応がおり、発熱、発火、や

爆発に至る可能性がある。

危険有害な分解生成物

火災時の燃焼により一酸化炭素、二酸化炭素、などを生じる。

## 11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[日本公表根拠データ]

(メタノール)

human LD50=ca. 1400mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)

(メチルエチルケトン)

rat LD50=2737mg/kg (環境省リスク評価第6巻, 2008)

(酢酸エチル)

rat LD50=5600mg/kg (ACGIH 7th, 2001)

(キシレン(異性体混合物))

rat LD50=3500 - 8800mg/kg (NITE有害性評価書, 2008)

(エチルベンゼン)

rat LD50=3500mg/kg (EHC 186, 1996)

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(メタノール)  
rabbit LD50=15800mg/kg (DFGOT vol.16, 2001)  
(酢酸エチル)  
rabbit LD50 > 18000mg/kg (SIDS, 2008)  
(キシレン(異性体混合物))  
rabbit LD50=1700mg/kg (EPA Pesticide, 2005)

#### 急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]  
(トルエン)  
vapor: rat LC50=3319-8800ppm/4hr (EU-RAR, 2003) et al.  
(メタノール)  
vapor:rat LC50>31500ppm/4hr (DFGOT vol.16, 2001)  
(メチルエチルケトン)  
vapor: rat LC50=11700ppm/4hr (PATTY 6th, 2012)  
(酢酸エチル)  
vapor: rat LC50=14640ppm/4hr (DFGOT vol.12, 1999)  
(キシレン(異性体混合物))  
vapor: rat LC50=6350-6700ppm/4hr (NITE有害性評価書, 2008)  
(エチルベンゼン)  
vapor: rat LC50=4000ppm/4hr (PATTY 6th, 2012)  
[会社固有データ]  
(トルエン)  
vapor: rat LC50=3319-8800ppm/4hr (EU-RAR, 2003) et al.

#### 労働基準法: 疾病化学物質

酢酸エチル; 酢酸n-ブチル; メタノール; キシレン(異性体混合物); トルエン

#### 局所効果

##### 皮膚腐食性/刺激性

[日本公表根拠データ]  
(トルエン)  
ラビット 中等度の刺激性 (EU-RAR, 2003)  
(メチルエチルケトン)  
ラビット 中等度の刺激性 (SIDS, 2011 et al)  
(キシレン(異性体混合物))  
ラビット 紅斑、浮腫、壊死 (NITE有害性評価書, 2008)  
[会社固有データ]  
(トルエン)  
ラビット 中等度の刺激性 (EU-RAR, 2003)

##### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[日本公表根拠データ]  
(トルエン)  
ラビット 軽度の刺激性 (EU-RAR, 2003)  
(メタノール)  
ラビット 区分2: Draize test (EHC 196, 1997)  
(メチルエチルケトン)  
ラビット 重度の刺激 (SIDS, 2011 et al)  
(酢酸エチル)  
ラビット 一過性の刺激性, 7日までに全ての反応は消失 (ECETOC TR48, 1998)  
(酢酸n-ブチル)  
ラビット 48時間後に回復 (SIDS, 2009)  
(キシレン(異性体混合物))  
ラビット 軽度から中等度の刺激性 (NITE有害性評価書, 2008)  
(エチルベンゼン)  
ラビット 軽度の刺激性 (EHC 186, 1996)  
[会社固有データ]

(トルエン)  
ラビット 軽度の刺激性 (EU-RAR, 2003)  
呼吸器感受性又は皮膚感受性データなし  
生殖細胞変異原性  
変異原性が認められた化学物質 [厚労省局長通達]  
(トルエン)  
発がん性  
[日本公表根拠データ]  
(エチルベンゼン)  
cat.2; IARC Gr. 2B (IARC, 2000 et al.)  
[IARC]  
(トルエン)  
Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない  
(キシレン(異性体混合物))  
Group 3: ヒトに対する発がん性については分類できない  
(エチルベンゼン)  
Group 2B: ヒトに対して発がん性があるかもしれない  
[ACGIH]  
(トルエン)  
A4(2020): ヒト発がん性因子として分類できない  
(キシレン(異性体混合物))  
A4(2021): ヒト発がん性因子として分類できない  
(エチルベンゼン)  
A3(2021): 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明  
[日本産衛学会]  
(エチルベンゼン)  
第2群B: ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質  
生殖毒性  
[日本公表根拠データ]  
(トルエン)  
cat. 1A; NITE初期リスク評価書 87, 2006  
(トルエン)  
cat. add; SIDS(J), Access on Apr. 2012  
(メタノール)  
cat. 1B; mouse : PATTY 5th, 2001  
(キシレン(異性体混合物))  
cat. 1B; ATSDR, 2007  
(エチルベンゼン)  
cat. 1B; 産衛学会許容濃度の提案理由書, 2014  
[会社固有データ]  
(トルエン)  
cat. 1A; NITE初期リスク評価書 87, 2006  
催奇形性データなし  
特定標的臓器毒性  
特定標的臓器毒性(単回ばく露)  
[区分1]  
[日本公表根拠データ]  
(トルエン)  
中枢神経系 (IARC 47, 1989; IRIS tox. Review, 2005)  
(メタノール)  
中枢神経系、視覚器、全身毒性 (DFGOT vol.16, 2001)  
(キシレン(異性体混合物))  
肝臓、中枢神経系、呼吸器、腎臓 (NITE有害性評価書, 2008)  
[会社固有データ]



(トルエン)  
中枢神経系 (IARC 47, 1989; IRIS tox. Review, 2005)

[区分2]

[日本公表根拠データ]  
(メチルエチルケトン)  
腎臓 (HSDB, 2014)

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]  
(トルエン)  
気道刺激性 (PATTY 5th, 2001)  
(メチルエチルケトン)  
気道刺激性 (環境省リスク評価第6巻, 2008)  
(酢酸エチル)  
気道刺激性 (ACGIH 7th, 2001; 環境省リスク評価第10巻, 2012)  
(酢酸n-ブチル)  
気道刺激性 (CICAD 64 2005)  
(エチルベンゼン)  
気道刺激性 (環境省リスク評価第13巻, 2015)  
[会社固有データ]  
(トルエン)  
気道刺激性 (PATTY 5th, 2001)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]  
(トルエン)  
麻酔作用 (EHC 52, 1985; IARC 47, 1989)  
(メタノール)  
麻酔作用 (PATTY 5th, 2001)  
(メチルエチルケトン)  
麻酔作用 (環境省リスク評価第6巻, 2008)  
(酢酸エチル)  
麻酔作用 (ACGIH 7th, 2001; SIDS, 2008)  
(酢酸n-ブチル)  
麻酔作用 (CICAD 64 2005)  
(キシレン(異性体混合物))  
麻酔作用 (NITE有害性評価書, 2008)  
(エチルベンゼン)  
麻酔作用 (ATSDR, 2010)  
[会社固有データ]  
(トルエン)  
麻酔作用 (EHC 52, 1985; IARC 47, 1989)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]  
(トルエン)  
中枢神経系、腎臓 (産業医学 36巻, 1994)  
(メタノール)  
中枢神経系、視覚器 (ACGIH 7th, 2001)  
(メチルエチルケトン)  
神経系 (ACGIH 7th, 2001)  
(キシレン(異性体混合物))  
神経系、呼吸器 (NITE有害性評価書, 2008)  
[会社固有データ]  
(トルエン)  
中枢神経系、腎臓 (産業医学 36巻, 1994)

[区分2]

[日本公表根拠データ]

(エチルベンゼン)

聴覚器 (ACGIH 7th, 2011)

誤えん有害性

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(トルエン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity =0.86 mm<sup>2</sup>/s (40°C)

(キシレン(異性体混合物))

cat. 1; kinematic viscosity=0.86(o-), 0.67(m-), 0.70(p-) mm<sup>2</sup>/s (25°C) (HSDB, 2014)

(エチルベンゼン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity=0.738 mm<sup>2</sup>/s (25°C)

[会社固有データ]

(トルエン)

cat. 1; hydrocarbon, kinematic viscosity =0.86 mm<sup>2</sup>/s (40°C)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生生物に毒性

長期継続的影響によって水生生物に有害

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(トルエン)

甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) EC50=3.78mg/L/48hr (NITE初期リスク評価書, 2006)

(トルエン)

甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) EC50=3.78mg/L/48hr (NITE初期リスク評価書, 2006)

(メタノール)

甲殻類 (ブラインシュリンプ) LC50=900.73mg/L/24hr (EHC196, 1998)

(メチルエチルケトン)

魚類 (ニジマス) LC50 > 100mg/L/96hr (環境庁生態影響試験, 1996)

(酢酸エチル)

甲殻類 (ミジンコ) EC50=262 mg/L/48hr; 魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=230mg/L/96hr (環境省リスク評価第10巻, 2012)

(酢酸n-ブチル)

魚類 (ファットヘッドミノー) LC50=18mg/L/96hr (CICAD 64, 2005)

(キシレン(異性体混合物))

魚類 (ニジマス) LC50=3.3mg/L/96hr (NITE 初期リスク評価書, 2005)

(エチルベンゼン)

甲殻類 (ベイシュリンプ) LC50=0.42mg/L/96hr (NITE初期リスク評価書, 2007)

[会社固有データ]

(トルエン)

甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) EC50=3.78mg/L/48hr (NITE初期リスク評価書, 2006)

水生環境有害性 長期(慢性)

[日本公表根拠データ]

(トルエン)

甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) NOEC=0.74mg/L/7days (NITE初期リスク評価書, 2006)

(トルエン)

甲殻類 (Ceriodaphnia dubia) NOEC=0.74mg/L/7days (NITE初期リスク評価書, 2006)

(メチルエチルケトン)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) NOEC=93mg/L/72hr (環境庁生態影響試験, 1996)

(酢酸エチル)

甲殻類 (オオミジンコ) NOEC=2.4mg/L/21days (ECETOC TR91, 2003)

(エチルベンゼン)

甲殻類（ネコゼミジンコ）NOEC=0.956mg/L/7days（環境省リスク評価第13巻, 2015）  
[会社固有データ]

（トルエン）

甲殻類（Ceriodaphnia dubia）NOEC=0.74mg/L/7days（NITE初期リスク評価書, 2006）

#### 水溶解度

（トルエン）

溶けない（ICSC, 2002）

（メタノール）

100 g/100 ml（PHYSPROP\_DB, 2009）

（メチルエチルケトン）

29 g/100 ml（20°C）（ICSC, 1998）

（酢酸エチル）

8 g/100 ml（PHYSPROP\_DB, 2009）

（酢酸n-ブチル）

0.7 g/100 ml（20°C）（ICSC, 2003）

（エチルベンゼン）

0.015 g/100 ml（20°C）（ICSC, 2007）

#### 残留性・分解性

（トルエン）

BODによる分解度：123%（既存点検）

（メチルエチルケトン）

急速分解性あり（20日後のBOD分解度＝89%（SIDS, 2011））

（酢酸エチル）

急速分解性あり（BOD分解度：66, 112, 105%/28day（通産省公報, 1993））

（酢酸n-ブチル）

急速分解性あり（BODによる分解度：98%, SIDS, 2009）

（キシレン（異性体混合物））

急速分解性なし（BODによる分解度：39%（NITE 初期リスク評価書, 2005））

（エチルベンゼン）

急速分解性なし（良分解性；標準法におけるBODによる分解度：0%（通産省公報, 1990））

#### 生体蓄積性

（トルエン）

log Kow=2.73（PHYSPROP DB, 2008）

（メタノール）

log Pow=-0.82/-0.66（ICSC, 2000）

（メチルエチルケトン）

log Pow=0.29（ICSC, 1998）

（酢酸エチル）

log Pow=0.73（ICSC, 2014）

（酢酸n-ブチル）

log Pow=1.78（PHYSPROP DB, 2009）

（キシレン（異性体混合物））

log Pow=3.16（PHYSPROP DB, 2005）

（エチルベンゼン）

log Kow=3.15（PHYSPROP DB, 2005）

#### 土壌中の移動性

土壌中の移動性データなし

#### 他の有害影響

オゾン層への有害性データなし

#### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
廃棄物の処理方法

環境への放出をしない。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

#### 14. 輸送上の注意

##### 国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1263

正式輸送名 :

塗料又は塗料関連物質

分類または区分 : 3

容器等級 : II

指針番号: 128

特別規定番号 : 163; 367

##### IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号 : 1263

正式輸送名 :

塗料又は塗料関連物質

分類または区分 : 3

容器等級 : II

特別規定番号 : 163; 367

##### IATA 航空危険物規則書

国連番号 : 1263

正式輸送名 :

塗料又は塗料関連物質

分類または区分 : 3

危険性ラベル : Flamm.liquid

容器等級 : II

特別規定番号 : A3; A72; A192

##### 環境有害性

MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

MARPOL条約附属書V - 廃物排出による汚染防止

生殖毒性: 区分1, 1A, 1B 該当物質

メタノール; キシレン(異性体混合物); エチルベンゼン; トルエン

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

メタノール; メチルエチルケトン; トルエン

バルク輸送におけるMARPOL条約附属書II 改訂有害液体物質及びIBCコード

有害液体物質(Y類)

エチルベンゼン; キシレン(異性体混合物); 酢酸n-ブチル; トルエン; メタノール

有害液体物質(Z類)

酢酸エチル; メチルエチルケトン

##### 国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

#### 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則 特定化学物質 第2類 特別有機溶剤等

エチルベンゼン

有機則 第25条第1項第2種有機溶剤(特化則第38条の8)

有機則 第2種有機溶剤等

トルエン; メタノール; メチルエチルケトン; 酢酸エチル; 酢酸n-ブチル; キシレン(異性体混合物)

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

トルエン(別表第9の407); メタノール(別表第9の560); メチルエチルケトン(別表第9の570); 酢酸エチル(別表第9の177); 酢酸n-ブチル(別表第9の181); キシレン(異性体混合物)(別表第9の136); エチルベンゼン(別表第9の70)

名称通知危険/有害物

トルエン(別表第9の407); メタノール(別表第9の560); メチルエチルケトン(別表第9の570); 酢酸エチル(別表第9の177); 酢酸n-ブチル(別表第9の181); キシレン(異性体混合物)(別表第9の136); エチルベンゼン(別表第9の70)

別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物 (0°C ≤ 引火点 < 30°C)

健康障害防止指針公表物質 (法第28条第3項)

エチルベンゼン

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年3月31日まで有効)

第1種指定化学物質

エチルベンゼン(4.0%)[エチルベンゼン(4%)(1-053)];  
キシレン(6.0%)[キシレン(異性体混合物)(6%)(1-080)];  
トルエン(45%)[トルエン(45%)(1-300)]

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)

第1種指定化学物質

トルエン(45%)[トルエン];  
エチルベンゼン(4.0%)[エチルベンゼン];  
キシレン(6.0%)[キシレン(異性体混合物)]

消防法

危険物

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II (指定数量 200L)

化審法

優先評価化学物質

トルエン(政令番号46 人健康影響/生態影響); エチルベンゼン(政令番号50 人健康影響/生態影響);  
キシレン(異性体混合物)(政令番号125 人健康影響)

悪臭防止法

トルエン

政令番号16: 敷地境界線許容限度 10 - 60 ppm

酢酸エチル

政令番号14: 敷地境界線許容限度 3 - 20 ppm

キシレン(異性体混合物)

政令番号18: 敷地境界線許容限度 1 - 5 ppm

大気汚染防止法

有害大気汚染物質

キシレン(異性体混合物)(中環審第9次答申の43)

エチルベンゼン(中環審第9次答申の24)

有害大気汚染物質/優先取組

トルエン(中環審第9次答申の141)

特定物質 政令第10条第1号から第28号

メタノール(政令第10条第6号)

水質汚濁防止法

指定物質

トルエン

法令番号 25

酢酸エチル

法令番号 13

キシレン(異性体混合物)

法令番号 28

## 16. その他の情報

### 参考文献

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN  
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN  
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)  
IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
Supplier's data/information